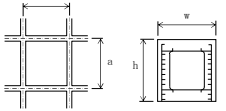
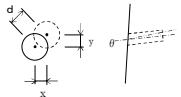
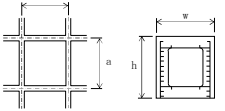
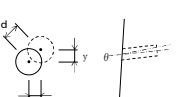


土木工事施工管理基準 新旧対照表
出来形管理基準 第03編 土木工事共通編

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	旧(令和0年10月版)				測定基準	測定箇所	摘要
							規格値						
							個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X/10)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 ℓ	ℓ < 10m	-100		施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(または50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		曲線部は設計図書による	
							ℓ ≥ 10m	-200					
						幅 w	-30						
						高さ h	-30						
						枠中心間隔 a	±100						
						延長 L	-200						
					2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長 ℓ	ℓ < 10m	-100		施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1施工箇所毎		
								ℓ ≥ 10m	-200				
							延長 L	-200					
							1施工箇所毎						
							計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。						
							1施工箇所毎						
6				アンカー工	削孔深さ ℓ	設計値以上		全数	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$		※鉄筋挿入工にも適用する		
					配置誤差 d	100							
					せん孔方向 θ	±2.5度							

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	新(令和7年3月版)				測定基準	測定箇所	摘要	改定理由
							規格値							
							個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X/10)					
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下				
3	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 ℓ	ℓ < 10m	-100		施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(または50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		曲線部は設計図書による		
							ℓ ≥ 10m	-200						
						幅 w	-30							
						高さ h	-30							
						枠中心間隔 a	±100							
						延長 L	-200							
					2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長 ℓ	ℓ < 10m	-100		施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1施工箇所毎			
								ℓ ≥ 10m	-200					
							延長 L	-200						
							1施工箇所毎							
							計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。							
							1施工箇所毎							
6				アンカー工	削孔深さ ℓ	設計値以上		全数	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$		※鉄筋挿入工にも適用する	アンカー頭部の設置角度について、出来形管理基準及び規格値を通知		
					配置誤差 d	100								
					せん孔方向 θ	±2.5度								
					アンカー部 の向 置対 角 す 度 θ	PC鋼材(ナット定着)	±2.5度							
						PC鋼材(くさび定着)	±5度							
						PC鋼材以外の引張り材における規格値については別途協議。								